授業が変わる、評価が変わる

環太平洋大学学長／中央教育審議会副会長 教育課程部会長 梶田叡一

新学習指導要領がいよいよ小学校で、今春（平成23年4月）から完全実施になります。そこで大事になるのが授業のとらえ方、評価のとらえ方です。このことを再認識することの大切さを、梶田叡一先生に教えていただきました。

梶田 叡一

かじた えいいち＊松江市生まれ、米子市で育つ。京都大学文学部哲学科卒業。国立教育研究所主任研究官、大阪大学教授、京都大学教授、京都ノートルダム女子大学学長、兵庫教育大学学長などを経て、2010年4月より現職。文学博士。

＊教育は結果が大切＊

学校が責任をもって、一人ひとりの子どもにいろいろなことをわからせ、できるようにさせ、力をつけ、人間としてしっかりさせる。このことをねらっているのが、今回改訂された新しい学習指導要領です。

いままで教育はプロセスが大事だからということで、よく、子どもの目がキラキラしているとか、イキイキしているとか、盛り上がっているとか、全員が発言していたといった、現象的な、外から見えるところばかりを問題にして、授業の良否を語る傾向がありました。

実は、授業でいちばん大切なことは、子どもにとって何がわかったのか、何ができるようになったのか、どんな力がついたのか、人間としてしっかりしてきた兆しが見えるのかといった、ある種の結果なのです。

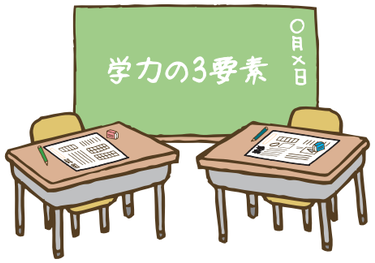
結果に着目することが、これからの授業論の中心になります。結果から教育を見ていくことが、教育評価なのです。評価の思想は結果を土台に考えていくことです。結果を見て取ってそれで終わりではなく、結果をふまえて次の一手をどう打つかを考える、ということなのです。

新しい学習指導要領の強力なメッセージは、学校や教師は責任をもって子どもに力をつけさせる、ということです。ですから、子どもの姿そのもの、子どもに表れている教育の結果そのものに、どこまでもこだわらなければなりません。

いままでは、教育の結果にこだわるというと、比較的つかみやすいペーパーテストの結果だけを見るといった、単純化された話に陥りがちでした。

＊学力の3要素と観点別学習状況の4観点＊

評価が変わることの大事さは、指導要録の今回の改訂についての中央教育審議会教育課程部会の報告や文部科学省の通知にも示されています。そこでは、学力の3要素に注目しないといけないとされています。



一つ目は、基礎・基本にかかわる知識や技能を大切にすることです。

二つ目は、その知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力がどのように発揮されていくかということです。

三つ目は、それらを行っていくうえで、主体的な態度が出てきているかどうかということです。別の言い方をすれば関心・意欲・態度が本当に育っているかどうかを見ていかなければならないということにつながります。

この学力の3要素が今回の指導要録の改訂で、評価すべきこととして示されています。観点別学習状況では、はじめの「基礎・基本にかかわる知識や技能」は、「知識・理解」と「技能」の2つの観点として考えられます。「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を加えて4観点になります。しかし、その背後には、こうした学力の3要素の考え方がきちんとあるわけです。

その中で、知識と技能は、概して言えば、読み・書き・計算などのような基礎的なことをできるだけ多く知り、理解することです。特に教科では、それぞれの教科のキーワードがきちんとわかって、使えるようになることです。

この知識と技能はペーパーテストでも結果がつかみやすいわけです。そのため、ペーパーテストの点数だけが子どもにとっての教育の結果、子どもの姿だと思われがちですが、そうではありません。

今回は評価が変わることで強調されていることが、二つあります。

その一つは、思考力・判断力・表現力です。別の言い方でいうと活用の力、もっと別の言い方をすればPISA型学力です。これらは、知識や技能を活用して、さまざまなことについてよく考え、妥当適切な結論を得る力です。

言い換えれば、いままで習ったことのないこと、教科書に出ていないことについても、子どもが頭の中にある知識を動員したり、それまで学校で習ったいろんな力を動員したりして、答えを導き出すことです。例えば全国学力学習状況調査の国語や算数のB問題の論述はこれです。

もう一つは、主体的な取り組みの態度です。関心・意欲・態度に代表されるような子どもの学習への取り組み方が、子ども自身が自分のものとして、自分の課題として本気になって取り組んでいるかどうかです。つまり、「やらされているからやっています」「義理だからやっています」「見かけ上、こうやったら拍手されるからやっています」というのではなく、自分がのめり込んでエゴインボルブ（自我関与 egoinvolve）して行うということです。「我が事」としてやっているかどうかを重視しているのです。

＊授業の工夫＊

このような評価は、教育の結果、授業の結果として見ていかなければなりません。単に子どもを評価しているのではなく、教師の指導のあり方も評価しているのです。そして、学力の3要素が子どもの中により一層よいものとして実現するよう授業の工夫をしないといけない、ということです。

例えば、子どもによっては、知識や技能を身につける勉強ばかりをコツコツやる子がいるかもし

れません。そういう子には、「これはどうやったら、発展的な問題解決に使えるだろうか」「これをもとにしてどういうことが更に考えていけるかな」「こういうものをもとにしたら自分なりの新しい何かにこだわって探究したり、追究したりできるかな」といった方向にも目を向けさせないといけないでしょう。

あるいは非常に優等生的で、知識や技能も活用能力も見かけ上ついているようだけれど、学習が「我が事」になっていないことがあります。つまり、主体的になっていないのです。「学校でやらないといけないから」というだけでやっている子には、学習を「我が事」にさせるための指導を工夫しなければなりません。

自分自身にひきつけて考えたときに、どういうことなら関心がもてるのか。どういうことなら意欲がわいてくるのか。どういうことなら「我が事」として、他人事でない自分自身のこととして考えることができるのか。授業の中でいろんな場面を与えて、こうした主体的な学習態度をはぐくむようにしていかなければなりません。

＊もう一度原点に返って＊

学力の3要素が一人ひとりの子どもの中で大事にされていくような教育活動にしなくてはなりません。学力の3要素のどれもが、子どもの中に実現していくような心の育ち、子どもの姿が実現されなければならないのです。新しい学習指導要領が本格実施される中で、このことは、教育関係者皆が本気で考えないといけない課題です。

ただし、これは必ずしも、新しい話ではありません。昔から優れた教育者なら、このことを考えてやってきています。ただ、1990年以降の「ゆとり教育」の中で、ややもすると知識や技能がないがしろにされ、活用能力である思考力・表現力・判断力も育ちにくい傾向がありました。子どもが好きなことを好きなときに好きなように行えばよいということで、関心・意欲・態度のはき違えがありました。「ゆとり教育」の中で学力の3要素がともに、教育活動として十分には展開されてこなかったわけです。そして、子どもの中に育ちとして実現してこなかったのです。

こうした反省のうえに立って、表面的な主張にまどわされることなく、今後はきちんと本質的なポイントをふまえた教育実践をやっていかなければなりません。優れた教育者は、この学力の3要素すべてを大事にしてやってきたのです。

どの学校でも、ベテランの先生の胸を借りながら、もう一度、教材研究・授業研究・評価研究を深めていかなければなりません。そのことで、授業が変わり、評価が変わっていくのです。授業が変わり、評価が変われば、当然のことながら子どもが変わります。先生方の一層の奮起に期待をしています。

改訂 実践教育評価事典 これでバッチリ!教育評価!
監修・著／梶田叡一・加藤　明
B5判264ページ　定価2,520円（税込）

新指導要録（新しい評価の観点）に対応して改訂!

教育評価の基礎理論を解き明かし、各教科の「授業づくりにどう生かすか」を詳説。絶対評価（目標準拠評価）の時代に、評価の目を大切にした教育実践を目指す教師必携の一冊。

第1部 対談「これからの学習評価」
第2部 授業づくりと教育評価の基礎・基本
第3部 各教科の授業づくりと評価
第4部 教育評価の基礎知識

梶田 叡一先生の教育コラム開設!　ぶんけい　教育コラム　検索

hito*yume book 最新刊行本のご案内

教材がわかる! 授業ができる!! 3段階で読む 新しい国語授業

2011年春からの新教材分析を緊急追加!

編著　筑波大学附属小学校 白石範孝
B5判　144ページ
定価2,100円（税込）

好評発売中

筑波大学附属小学校教諭
白石範孝の おいしい国語授業レシピ

子どもの喜び、それは教師の喜び。授業を楽しむ自信がつきます。

B5変型判　128ページ
定価1,680円（税込）

筑波大学附属小学校教諭
田中博史の おいしい算数授業レシピ

おいしい算数授業づくりのための秘密の技と心、お伝えします。

B5変型判　128ページ
定価1,680円（税込）

筑波大学附属小学校教諭
二瓶弘行の「説明文一日講座」

これ一冊で説明文の授業がわかる！授業で勝負する実践家たちへ

B5変型判　128ページ
定価1,680円（税込）

國學院大學人間開発学部教授
安野功の 授業実践ナビ 社会

目からウロコの社会科授業にご案内！これからの社会科授業をナビゲート

B5変型判　128ページ
定価1,680円（税込）

株式会社文溪堂
http://www.bunkei.co.jp
東京本社／東京都文京区大塚3-16-12　〒112-8635　TEL（03）5976-1311（代）
岐阜本社／岐阜県羽島市江吉良町江中7-1　〒501-6297　TEL（058）398-1111（代）
大阪支社／大阪府東大阪市今米2-7-24　〒578-0903　TEL（072）966-2111（代）